

ここでは視点を変えて地上風の分布(河村, 1977)と対照してみた。結果は, 出来易い場所が風の収束帯の風下と一致しており, 逆に出来難い場所は発散場の風下にあった。実例を第2図に示す。この見地に立つと, 2項で述べた「出来易い場所の一見相反する特徴, すなわち山塊と低地溝」も, 風の収束帯の風下という点では共通している。

文献

河村 武, 1977: 全国地上風分布図, 気象庁技術報告, 91, 21-33.

Magono, C., 1971: On the localization phenomena of snowfall, J. Met. Soc. Japan, 49, Special Issue, 824-835.

中山 章ほか, 1969: 地形効果による収束線. 天気, 16, 109-114.

岡林俊雄, 1972: 気象衛星からみた雪雲と降雪についての研究への利用, 気象研究ノート, 113, 74-106.

Tsuchiya, K. and T. Fujita, 1967: A satellite meteorological study of evaporation and cloud formation over the Western Pacific under the influence of the winter monsoon, J. Met. Soc. Japan, 45, 232-250.

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
第6回リモートセンシングシンポジウム	昭和55年11月18日~19日	計測自動制御学会	国立教育会館
中部支部研究会	昭和55年11月28日	日本気象学会中部支部	長野県勤労者福祉センター
第6回風工学シンポジウム	昭和55年11月27日~28日		日本学術会議講堂
第18回粉体に関する討論会	昭和55年11月27日~29日		豊橋技術科学大学大講堂
気候変動シンポジウム	昭和55年12月8日		日本学術会議大会議室
第27回風に関するシンポジウム	昭和55年12月9日		気象研究所講堂
第3回MONEX研究会	昭和55年12月9日~10日	GARP委員会	東大海洋研究所
IAMAP Third Scientific Assembly	1981年8月17日~28日		西独ハンブルグ市
グローバル水収支の変動に関するシンポジウム	1981年8月9日~15日		英国オックスフォード